

脳神経医学セミナー

(来聴歓迎・事前登録不要)

GABA_A受容体と抑制性シナプス伝達を制御する 新規サブユニットの同定

慶應義塾大学医学部生理学教室
Yale University School of Medicine

山崎 世和 先生

日時 2018年2月16日金曜日 午後5時～6時
場所 金沢大学宝町キャンパス 医学図書館2階十全スタジオ
<http://square.umin.ac.jp/top/map/med-lib.pdf>
後援 金沢大学十全医学会

GABA_A受容体は脳における抑制性シナプス伝達を担う主要なイオンチャネル型受容体です。GABA_A受容体の機能にはシナプス後部への適切な局在が重要ですが、その局在メカニズムについては不明な点が多く残されています。私たちは、GABA_A受容体が巨大なタンパク質複合体を形成していることを見出し、その形成に必須な新規GABA_A受容体結合因子GARLHを同定しました。さらにGARLHがGABA_A受容体のシナプス局在と抑制性シナプス伝達において重要な役割を持つことを明らかにしました。今回のセミナーではGARLHを同定するに至ったユニークな生化学的アプローチと、新たに明らかとなったシナプス伝達を制御する分子メカニズムについて紹介したいと思います。

問合せ 金沢大学医学系 脳神経医学分野 河崎 洋志
076-265-2365, kawasaki-labo@umin.ac.jp